

天 触 吞

DOJIN
R18
成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止



気がつくとい私は狭い肉壁
の中に囚われていた

離〜っ

ズル

お嬢…

咽返るような雄臭い匂いを
放つ白濁の液のプールに私は
浸からされ
その中から触手達が姿を現し
私の身体へとにじり寄って
きた

ニルル

ニル

ニルル

キ〜

ニルル

これから起こる恐怖は
想像つくも身動きすら
とれずどうすることも
出来ない
どうしてこんなことになっ
てしまったのか…

覚えているのは魔物に
呑み込まれたということ

抵抗しようにも四肢の自由を
奪われ為す術なく呑まれてしまった

このまま呑み込まれて
消化されてしまうのか…

キキキ
あるい…

食べたい
って…

そんな恐怖が膨らんで
いった



蠢く肉壁の中を奥へと
へ進んでそこは瘴気が
吹き出していたが

酸欠ぎみのこの状態では
呼吸を止めることが出来ず
一方的に瘴気を当てられ
続けてしまった

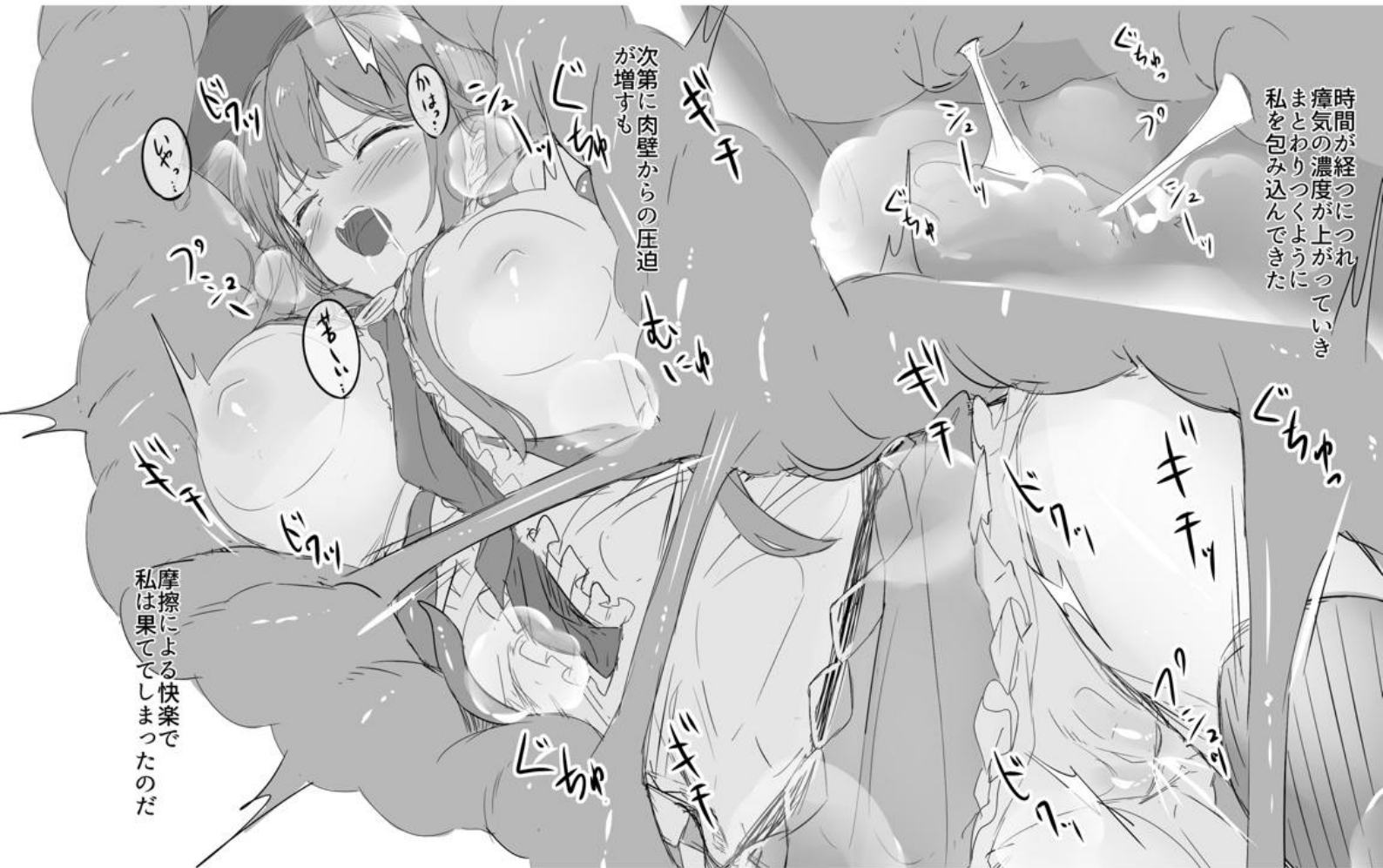
不思議なことこの瘴気は
催淫作用を持っているようで
私の身体は火照っていったのだ



時間が経つにつれ
痺気の濃度が上がっていき
まわりつくように
私を包み込んできた

次第に肉壁からの圧迫
が増すも

摩擦による快樂で
私は果ててしまったのだ



ここに囚われたころには既に私の体は疼きが止まらないほどに発情させられていた。

スルル

うんざり

だ

やめろ

ぐ

しかしこの触手たちはそれだけで許してくれず私の身体をさらに舐めようとしてきたのだ。

フールン

ズル

ほろり

フールン

ほろり

身動きすら取ることが許されない私は只々この恐怖に怯えるしかないのだった。

ズル

彼らが投与する液体にも
強烈な催淫効果があり
何度も与えられる度に
刺激が次第に快楽へ
変わっていった

それと一緒に母乳が出る
肉体へと改造されてしま
乳管をから射乳される快感
に溺れている私を知ってか
絞るように私の乳首を執拗
に責め続けた

最早私の全身は性感帯のよう
になり軽く撫でられただけで
何度もイッてしまう程になっ
てしまっていた

引っぱらない
っ？...!!

彼らは私の愛液や体液
を餌としているらしく
舐め回すように私の身体
を弄つてもお尻の穴が
その中でお尻の穴が
気に入ったらしく私の
反応を楽しむかのように
ねちっこく責めてきた

んん

ニニニ

ギニギニ

ヒクつく私の穴に
ゴツゴツと固く大きな
触手を挿入し私の肛門が
それに物欲しそうに
吸い付くのを確認する
ように焦らしている

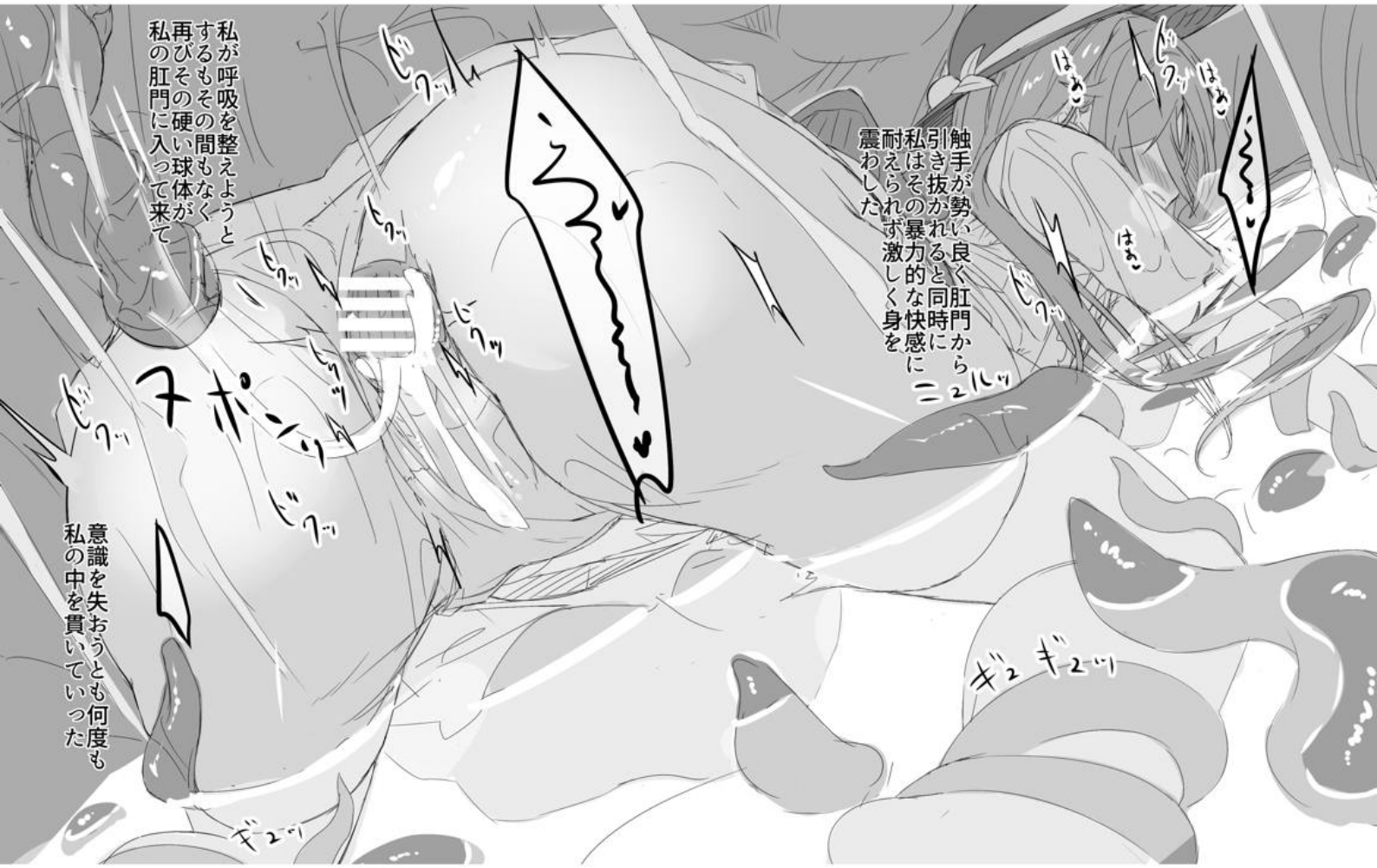
お願い...!!
やめて...!!

イキたいのにいけ
ない時間焦らされ
ない耐え難いこの拷問に
屈しようとしていた

触手が勢い良く肛門から
引き抜かれると同時に
私はその暴力的な快感に
耐えられず激しく身を
震わした

私が呼吸を整えようと
するもその間もなく
再びその硬い球体が
私の肛門に入ってきて

意識を失おうとも何度も
私の中を貫いていった



次に目が覚めると一面
ウネウネと動く小さな触
手達の上に跨がされていた
股下にひんやりとぬめった
触手たちが
私からの分泌液を求め
蠢き続けた

両の手は縛られた私は
この快楽から逃げる術を
持つておらず
理性が崩壊するのを日々
待つしかなかった

ここでも彼らは私の
尻穴へと興味を持ち
こじ開け中へと侵入
してきた



先程の硬い触手と違う
肉感のあるひんやりとしたもの
が肛門をこじ開け
腸内へと我先へ跳ね進む
異物感が体内で広がっていく

表面だけでなく
体内からも襲いかかる
刺激に

私は只々イカされ
続けるしかなかった



疲労から倒れ込むも
どこにも逃げ場がなく
むしる状況が悪化してしまった

後ろだけでなく今度は胸の
方にも群がり母乳を求め始めた

全身を快感がめぐり私は
その心地よくも暴力的な
快楽へ身を振らせ求め
出していたのだ



しかし耐えられず逃れようと
する私を彼らが許してくれる
はずがなかった

四つん這いの体制で自由だけで
なく私の純潔をも奪っていった

化物からの辱めを受けて
いることすら考えられない
ほどの快楽物質が脳内を
駆け巡る

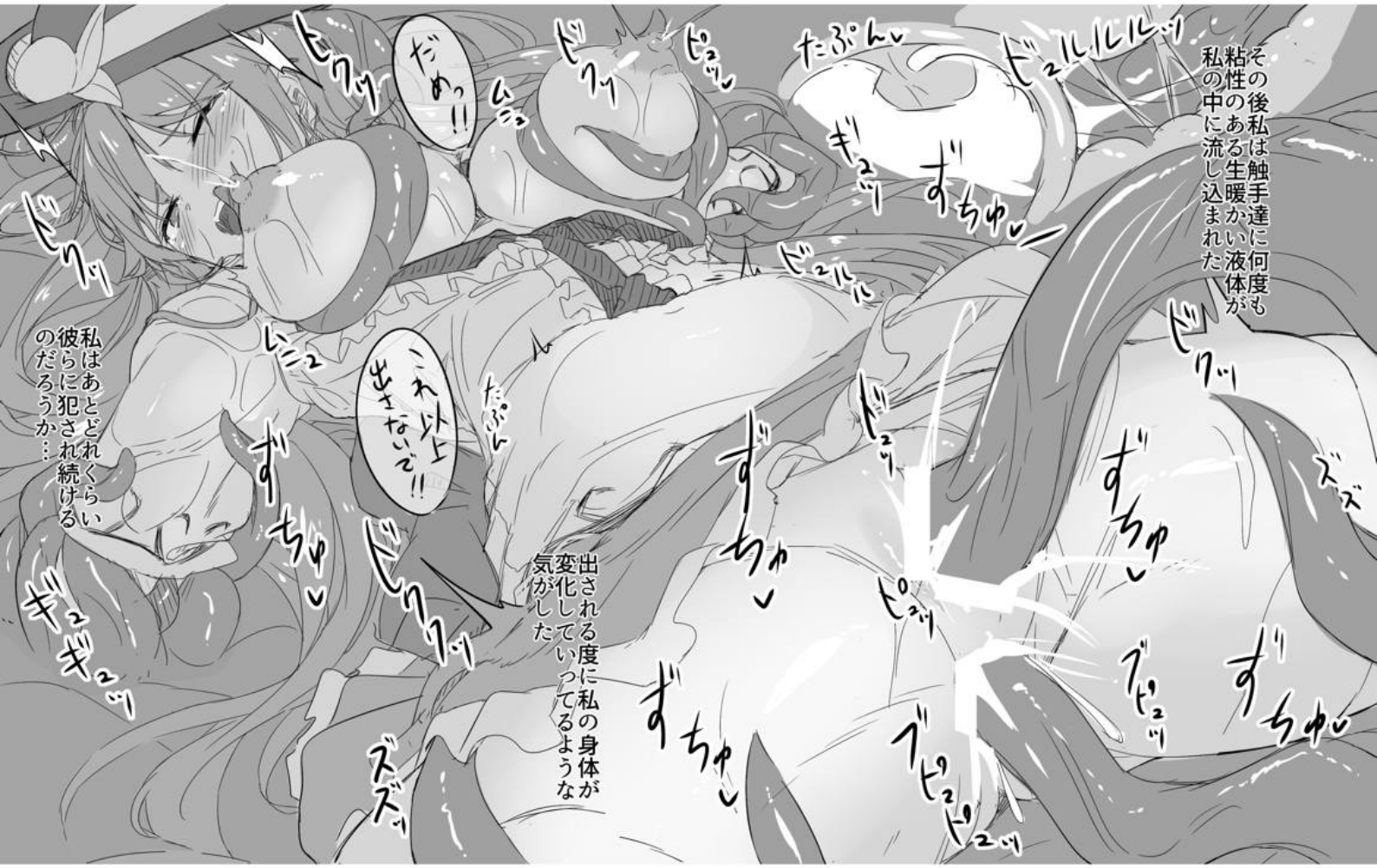
本来ならば迎えるであろう激痛
も今の私の身体には快感でしか
なかった



その後私は触手達に何度も
粘性のある生暖かい液体が
私の中に流し込まれた

出される度に私の身体が
変化していつてるような
気がした

私はあとどれくらい
彼らに犯され続ける
のだろうか...



彼らは私の身体を貪り
満足し終えると去っていく…
そんな日々が続いていたが私の
ある日とても大きな触手が私の
前に現れた

その大きさはひと目見た
だけで異質なものだと
伝わり

くんな
キキナ

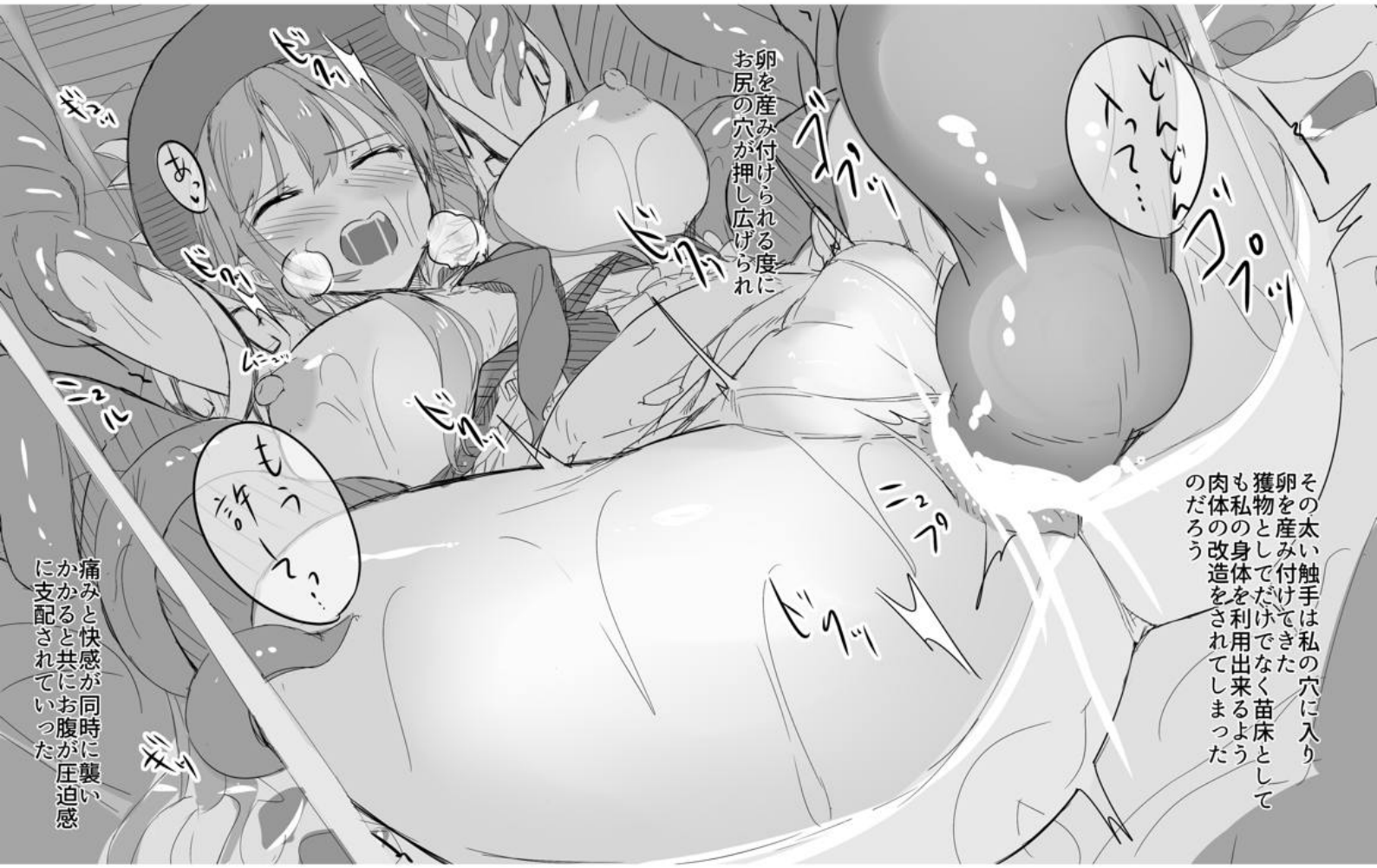
キキナ
キキナ

麻痺していた私の恐怖心を
思い出させたのであった

その太い触手は私の穴に入り
卵を産み付けてきた
獲物としてだけでなく苗床として
も私の身体を利用して来よう
肉体の改造をされてしまった
のだから

卵を産み付けられる度に
お尻の穴が押し広げられ

痛みと快感が同時に襲い
かかると共にお腹が圧迫感
に支配されていった



穴から出てくる度に
強い快感が身体を貫き
その度に絶頂を迎え
させられた

産み付けられた卵達は羽化の
時期を迎えたのか自分達で
出口の方へと向かっていった

私はここから逃れることが出来ず
いずれ生まれてくるこの触手達
にも犯されてしまうのだろうか…

(END)



neropaso
x
Touhou Project

■あとがき

どうもです。neropasoです。
あとがき用のページがなかったので裏表紙から失礼します。
やはり天子ちゃんに触手を巻いたのを描くのは楽しいです。
そのうち今回の本のイラスト使って本当のCG集とか作ってみたいです。
短いですがそれでは…！！

■奥付

編集・企画：neropaso
誌名：天触・吞
著者：neropaso
印刷：サングループ様
発行日：2019/05/05
第十六回博麗神社例大祭
連絡先：neropaso@gmail.com

 **SUN GROUP**
<http://www.sungroup.co.jp/>

※無断で本誌の内容を転載、転写、複製、デジタル化することを禁じます。

天子ちゃんと
はちまる本 #
R-18



むらむらしたから
抜いて欲しいとか…

はあ…

いつも発情して
ばっかりなのね

変態…



手だけでイカされて
恥ずかしくないの？

早すぎよっ

べたよ...

どんだけ出せば
気が済むのよ

まだ硬い
し...



またこんなに
大きくしちやって…

あんたここが
弱いんでしょ…？

早くイっちゃい
なさいよ♥

にちゅ♡

にちゅ♡

はぁ♡

くちゅ♡

くちゅ♡



ほら早く
挿入れなさいよ...

あんたの好きな
おしりよ

いつもみたいに激しく
犯すんでしょ？
獣のように

ねえ...
早く...
♡♡

アキ

ふー

アキ

ふん

ふん

くろ



ゴム無くなるまで
するなんて
どんだけよあんな

らっぴんお遊覧...

ちゃんと責任
とりなさいよね...

...大好き

ドキ

ドキ

びびり

びびり

びびり
びびり





■原作:上海アリス幻楽団／東方project■

発行:あぶら畑牧場。

初版発行:2017年08月11日

コミックマーケット92

作家:neropaso

印刷:サングループ 様



SUN GROUP

<http://www.sungroup.co.jp/>

HP:aburabatake.com

mail:neropaso@hotmail.co.jp

pixiv ID:63681

twitter ID:neropaso